

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

会報 第3号 平成24年7月9日発行 会長：嶋田博信

事務局：NPO法人安房文化遺産フォーラム(〒294-0036 千葉県館山市館山95 小高記念館)

TEL&FAX：0470-22-8271 Eメール awabunka@awa.or.jp

公式サイト <http://aoki-shigeru.awa.jp/> **New!** ブログ布良・相浜の漁村日記 <http://meranoumi.wordpress.com/>

青木繁の没後100年にあたる2011年、石橋美術館(久留米)・京都国立美術館・ブリヂストン美術館(東京)で半年にわたる「青木繁展～よみがえる神話と芸術」が開催され、毎日1,000人の青木繁愛好家が鑑賞に訪れたそうです。《海の幸》誕生の館山市富崎地区コミュニティ委員会と当会では2回、富崎小学校でも1回のブリヂストン美術館バスツアーを企画し、本物の《海の幸》を鑑賞してきました。さらに当会では文化庁補助事業に採択され、「布良という聖地へ行こう」というポスターの作成をはじめ、館山ではさまざまな記念行事を開催しました。

今年は、当会とNPO法人安房文化遺産フォーラムと安房祭礼研究会が連携を図り、「館山市の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業実行委員会」として、引き続き文化庁の補助事業に選定されています。館山市とともに、裏面のように様々な事業を実施しますので、どうぞご参加ください。

また、館山市ふるさと納税では、「小谷家住宅の保存・活用基金」が設定され、目的指定を選択することが可能になりました。ご寄付の場合はぜひご利用ください。



ブリヂストン美術館で『海の幸』を鑑賞する富崎小学校の子どもたち

青木繁「海の幸」オマージュ展

会期：2012年6月26日(火)～9月2日(土) 入場無料

会場：渚の博物館(館山市立博物館分館 “渚の駅、たてやま内 TEL:0470-24-2402)

主催：NPO法人青木繁「海の幸」会、館山市、館山市教育委員会

協力：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会、NPO安房文化遺産フォーラム

- 【市の関連事業】①ギャラリートーク 7月14日(土)13:30～15:30 オマージュ展会場
講師：佐々木豊(洋画家)、ワシオ・トシヒコ(美術評論家)
- ②講演会(ふるさと講座) 7月22日(日)13:30～15:30 館山市中央公民館
講師：植野健造(青木繁研究者、福岡大学教授、元石橋美術館学芸員)
- ③館山市立図書館 青木繁「海の幸」特設コーナー 6月29日(金)～9月2日(日)

… 会場ボランティア協力をお願いします …

全国の美術関係者の皆さんが「小谷家住宅」の保存を目ざし、修理基金＝目標約4,000万円を募るために設立したNPO法人青木繁「海の幸」会では、会員によるチャリティ展覧会を企画しました。オマージュと「尊敬・称賛」を意味します。東京銀座展(6/11～16)に引き続き、館山市・同教育委員会が共催して、《海の幸》誕生の館山市を会場に、巡回展が開催されています。

長期間にわたり青木繁のデッサン原画なども展示されるため、博物館長よりボランティアスタッフの協力依頼がありました。仕事内容は展示会場の受付と見回りで、特に夏休み期間中の土日を中心に、半日ずつでもOKです。当会会員の皆様にもご協力のほどお願い申し上げます。協力可能な方は下記までご連絡下さい。

事務局：池田恵美子 090-6479-3498・小谷福哲 090-3434-3622・小谷由喜枝 090-6158-9703



文化庁 平成 24 年度地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業
青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会



富崎小学校 平成 17 年度卒業記念制作《海の幸》

青木繁「海の幸」オマージュ展 関連事業

*布良の「小谷家住宅」公開見学日

7/14(土)10:00~12:00 7/22(日)10:00~12:00

8/5(日)13:00~16:00 8/19(日)13:00~16:00

◎ 送迎はありません。館山駅から JR バス関東で 20 分「安房自然村」下車、徒歩 5 分。

※ 青木繁が滞在した「小谷家住宅」は館山市指定文化財ですが、ご高齢の小谷家当主ご夫妻がお住まいの住宅のため、通常は一般公開されていませんのでご注意ください。

南房総・館山市
布良^{めら}
 という聖地へ
 行こう

*館山の芸術・文学散歩バスツアー 要予約 参加費 2,000 円 (昼食・保険料等)

9/1(土)10:00~16:00

10/6(土)10:00~16:00

◎ 集合：JR 内房線館山駅西口（高速バスなのはな号=東京 8:00 発が便利です）

古くから画家や文人墨客に愛された風光明媚な南房総・館山は、多くの芸術や文学が生まれています。青木繁《海の幸》をはじめ中村彝《海辺の村（白壁の家）》など多くの画家が描いた布良は、林芙美子が青木を題材に書いた小説『夜猿』や高田敏子の詩『布良海岸』の舞台でもあり、岬を越えた白浜では若山牧水が「白鳥や哀しからずや空の青海のあをにも染まずただよふ」を詠んでいます。歌舞伎や人形劇にもなった『南総里見八犬伝』は実在した戦国大名・房総里見氏がモデルになりました。どこをめぐるか、乞うご期待！

宿泊プランをご希望の方は、翌日、館山を代表する戦争遺跡「赤山地下壕（館山市指定文化財）」のガイドサービスもご利用いただけます。詳しくはお問い合わせください。

*青木繁《海の幸》フェスタ 要予約 参加費無料

10/20(土)・21(日)10:00~15:00

会場：旧館山市立富崎小学校

◎ 送迎はありません。館山駅から JR バス関東で 20 分「相の浜」下車、徒歩 5 分。

◆美術講座（青木繁について語ろう&DVD 鑑賞） ◆青木繁《海の幸》模写絵画教室=スケッチも OK

◆ウォーキング（小谷家住宅・記念碑・布良崎神社など） ◆明治期の富崎村（布良・相浜）写真展 など

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

Blog 配信中 ⇒

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館（事務局：NPO 安房文化遺産フォーラム）

TEL&FAX：0470-22-8271 awabunka@awa.or.jp ◎会員募集中（年会費 2,000 円）

